



東京消防庁災害時支援ボランティア

ボランティア通信【第158号】



防災週間における応急救護訓練

日 野 消 防 ボ ラ ン テ ィ ア



日野消防署では、令和7年8月29日（金）防災週間の機を捉え、ボランティア5名、職員2名のサポートにより、日野市内の児童館職員30名に対し、心肺蘇生法とAED取扱要領等の応急救護訓練指導を実施しました。

また、令和7年9月13日（土）ボランティア定期講習会では、救急救命士の指導の下、心肺蘇生法とAED取扱要領等に加え、三角巾取扱要領や傷病者回復時の対応等、今まで実施したことない訓練を実施することで、災害時支援ボランティア一人一人の応急救護に関する、知識・技術の向上を図りました。

震災等大規模災害発生時には、職員だけでは人員が不足することが懸念されます。そのため、長時間災害活動現場及び消防署内で消防職員をバックアップし、また負傷した市民に対し、応急手当や搬送などの任務を実施してもらうボランティアの皆さんが必要不可欠となることから、引き続き後方支援に必要な各種知識・技術の向上を図る機会を作っていきます！

また、登録者数を増やすための募集活動にも力を入れ、いつ起こるかわからない震災等大規模災害に対し、万全の体制を構築していきます！

